



着任のあいさつにたつ佐倉支部の新役員（左端が宮内支部長）

新執行体制のもと『60・3ダイ改』を阻止する

11/7 佐倉支部 定期大会

勤労千葉

84. 11. 22

No. 1799

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七）

第六回佐倉支部定期大会は、代議員・傍聴者の参加のなか、11月17日、機関区講習室において開催され、この一年間の闘いの勝利的総括と今後一年間の闘う方針を満場一致で確認し、宮内新支部長を先頭とした新執行部を選出して成功裡に終了した。

堀口支部長が力強い決意を表明

大会は服部執行委員の司会により、議長に平川代議員を選出して進められた。

まず、堀口支部長より、「先日、『60・3』合理化の概要提案をうけ、今や国鉄労働者の存在をかけた闘いが開始されようとしている。まさに勤労千葉の三里塚を闘う労働運動路線の正しさが証明されていることを強く肝に銘じ、反対同盟との共闘・交流の強化と連帯を強め、二期工事阻止―国鉄10万人首切り阻止へむけ奮闘していかなければならない。勤労『本部』革マルは鉄労以下になりさがり、当局の手先となり、当局になりかわって、『出向、一時帰休、若年退職に應じるべきだ』と組合員に強要し、国鉄労働者を裏切っている。勤労『本部』革マルの―掃なしに国鉄労働運動解体攻撃に勝つことはできない。私もその先頭にたつ」との力強い決意が表明された。

勤労「本部」革マルを一掃し、「60・3」に勝利するぞ

続いて、来賓の中江船橋市議、布施本部書記長、千葉労金より各々あいさつをうけた。

とりわけ中江氏は、現在の国鉄労働組合つぶしの10万人首切りが、一九四九年の定員法により10万人首切りが強行され、労働運動が体制にくみこまれていく中で朝鮮侵略戦争へと動員されていった当時の状況と非常によく似ている事などが明らかにされた。

支部通信員・発

執行部より運動方針が提起され、質疑の中で「60・3ダイ改」問題が論議された後、佐倉支部一丸となって勤労千葉の先頭にたつて闘うことを確認した。

新執行体制を確立

大会は、若さあふれる新執行体制を満場一致で選出・確立し、成功裡に終了した。新役員は次の通りです。



結成以来の5年間、支部執行体制の先頭を担い、佐倉支部の今日の礎を築き後進に道を譲られた堀口支部長、能勢副支部長、平川議長を満場の拍手が包んだ。

執行委員長	宮内正志	(三六)	機関士
副書記長	大根洋一	(三五)	検査係
書記長	田中龍美	(三二)	事務係
執行委員	室岡孝志	(二七)	検査係
執行委員	軒名貞夫	(二六)	機関士
執行委員	服部和夫	(二五)	機関士
執行委員	笠井清	(二五)	機関士
執行委員	山崎茂雄	(二五)	機関士
執行委員	堀口太一	(五四)	機関士
執行委員	三山良民	(四二)	機関士
執行委員	鈴木利勝	(四八)	機関士
執行委員	梶木正史	(三七)	検査係

御歳暮に 御年賀に

カナメ商事の産地直送

「新のり」

信冊りんご

お申し込みは
電話一本で
お気軽に……

お早めに御注文下さい。



TEL(鉄) 2939
(公) 0472
(27) 6832

カナメ商事